

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ニチリョク  
 コード番号 7578 URL <http://www.nichiryoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼常務執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 寺村 久義  
 (氏名) 矢田 欣也

TEL 03-3396-3052

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,482	4.2	419	13.9	368	11.8	123	△26.8
21年3月期第3四半期	3,342	—	368	—	329	—	168	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第3四半期	9.20	—
21年3月期第3四半期	12.26	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第3四半期	10,900	4,041	37.1	304.56
21年3月期	10,855	3,943	36.3	292.73

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 4,041百万円 21年3月期 3,943百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	—	—	7.50	7.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	4,900	2.1	770	7.5	680	2.5	320	18.9	23.75

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 有

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	13,741,014株	21年3月期	13,741,014株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	469,666株	21年3月期	268,666株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	13,385,668株	21年3月期第3四半期	13,705,083株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、国際金融危機の深刻化を背景に、引き続き景況感の悪化による個人消費が低調に推移しており、景気の先行きはなお予断を許さない状況にあります。当社の属する供養産業におきましても、死亡者が年々増加しているにもかかわらず業者間格差が広がりつつあります。特に景気の後退と社会保険問題等で高齢者の将来不安は払拭されず、購買意欲は依然低調であります。これに伴う同業他社との競争激化による顧客単価の下落という厳しい状況下、当社はビジネスモデルのチェンジ、即ち屋外墓地の霊園事業から、供養の全てをパックにした堂内陵墓事業への展開を着実に図るとともに、愛彩花倶楽部会員獲得に積極的に取り組み、葬儀見込み客の囲い込みを進めた結果、営業活動による業績は前年同期を上回りましたが、保有投資有価証券の評価損（1億6千1百万円）の特別損失を計上いたしました。一方、和解の成立に伴う貸倒引当金戻入額（1億4千3百万円）の特別利益の計上があったものの、当第3四半期累計純利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高34億8千2百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益4億1千9百万円（前年同期比13.9%増）、経常利益3億6千8百万円（前年同期比11.8%増）、当第3四半期累計純利益は1億2千3百万円（前年同期比26.8%減）となりました。

各事業の状況は次のとおりです。

#### < 霊園事業 >

従来式の屋外墓地につきましては、景気後退による影響で、比較的高価格となる墓地の買い控え、並びに小規模傾向が続く環境ながら、売上高は18億1千3百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

#### < 堂内陵墓事業 >

堂内陵墓第三号となる「関内陵苑（横浜市中区）」の募集は、当初の計画を上回る募集実績で推移していましたが、募集可能残基数が少なくなったことから、前年同期に比べ売上が減少しております。一方、堂内陵墓第4号となる「覚王山陵苑（名古屋市中種区）」の募集は、順調に進んでおります。この結果、売上高は9億1千7百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

#### < 葬祭事業 >

愛彩花倶楽部会員数の順調な増加により、葬儀施行件数が前年同期に比べ伸びたことに加え、現代の住環境に適した家具調モダン仏壇仏具専門店「愛彩花ギャラリー」の売上也貢献し、葬儀の地味化傾向からの施行単価の下落を補い、売上高は7億5千2百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 財政状態の変動状況

当第3四半期会計期間末における財政状況につきましては、流動資産は前事業年度末に比して1億2千5百万円増加し、44億6千7百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金4億9千6百万円の増加、永代使用権2億7千5百万円及び売掛金1億1千6百万円の減少によるものです。

固定資産は8千万円減少し、64億3千2百万円となりました。その主な要因は、霊園開発協力金1億6千5百万円及び長期貸付金1億9千6百万円の減少、有形固定資産2億2千8百万円の増加によるものです。

流動負債は2億8千6百万円増加し、40億7千5百万円となりました。その主な要因は、短期借入金2億3千6百万円及び1年内償還予定の社債1億4千6百万円の増加、未払法人税等1億4千2百万円の減少によるものです。

固定負債は3億3千9百万円減少し、27億8千3百万円となりました。その主な要因は、長期借入金7億6千2百万円の減少、社債3億8千1百万円及び退職給付引当金2千8百万円の増加によるものです。

純資産は9千8百万円増加し、40億4千1百万円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金1億千1千5百万円の減少によるものです。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、主に営業収入、貸付金の回収及び社債の発行による収入がありましたが、一方では借入金の返済及び有形固定資産の取得もあり、前事業年度末に比して、4億9千4百万円増加し、当第3四半期会計期間末は16億7千3百万円となりました。

当第3四半期会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれら要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、8億5千2百万円（前年同期は4億9百万円の獲得）となりました。これは、主として営業収入（12億1千7百万円）と法人税等の支出（3億2百万円）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億4千9百万円(前年同期は2億8千5百万円の獲得)となりました。これは、主として有形固定資産の取得(2億7千6百万円)、貸付金(5千万円)及び壺園開発協力金(5千3百万円)の支出、貸付金の回収(2億4千5百万円)によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億8百万円(前年同期は10億5千5百万円の使用)となりました。これは、主として借入金の返済(5億8千1百万円)、配当金(1億円)及び自己株式の取得(4千万円)の支出、社債の発行(5億1千3百万円)によるものです。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期業績予想に関しましては、景況感の悪化による個人消費環境は依然厳しいとの状況に鑑み、平成21年5月15日公表しました業績予想を据え置くものとします。

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 当第3四半期会計期間末における棚卸高に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。
2. 法人税等の納付税額の算定に当たっては、加味する加減算項目を重要なものに限定しております。繰延税金資産の回収可能性の判断にあたっては、前事業年度末以降、経営環境に著しい変化はなく、かつ一時差異の発生状況に大幅な変化がないため、前事業年度末において使用した将来の業績予測及びタックスプランニングを使用して行っております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### 【表示方法の変更】

当第3四半期累計期間  
(自 平成21年4月1日  
至 平成21年12月31日)

(四半期損益計算書)

前第3四半期累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「社債利息」は、当第3四半期累計期間においては「支払利息」に含めて表示しております。なお、前第3四半期累計期間及び当第3四半期累計期間における「社債利息」は、それぞれ5,079千円及び2,665千円であります。

当第3四半期会計期間  
(自 平成21年10月1日  
至 平成21年12月31日)

(四半期損益計算書)

前第3四半期会計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「社債利息」は、当第3四半期会計期間においては「支払利息」に含めて表示しております。なお、前第3四半期会計期間及び当第3四半期会計期間における「社債利息」は、それぞれ1,095千円及び1,090千円であります。

前第3四半期会計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取配当金」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第3四半期会計期間では区分掲記することとしました。なお前第3四半期会計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取配当金」は5,400千円であります。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,253,631	1,756,676
完成工事未収入金	41,845	94,551
売掛金	111,124	227,300
永代使用权	1,212,590	1,488,284
未成工事支出金	467,087	412,254
原材料及び貯蔵品	77,308	74,108
その他	303,962	289,312
貸倒引当金	△24	△61
流動資産合計	4,467,526	4,342,426
固定資産		
有形固定資産	1,572,637	1,344,052
無形固定資産	308,569	374,836
投資その他の資産		
長期貸付金	1,080,771	1,277,689
霊園開発協力金	1,518,491	1,684,389
その他	2,073,129	2,096,588
貸倒引当金	△120,622	△264,303
投資その他の資産合計	4,551,769	4,794,363
固定資産合計	6,432,976	6,513,252
資産合計	10,900,502	10,855,678
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	36,087	50,948
短期借入金	760,030	523,600
1年内返済予定の長期借入金	2,058,770	2,114,190
1年内償還予定の社債	252,000	106,000
未払法人税等	8,361	150,479
賞与引当金	24,800	49,000
役員賞与引当金	11,680	18,000
その他	923,735	776,754
流動負債合計	4,075,464	3,788,973
固定負債		
社債	482,000	101,000
長期借入金	1,961,224	2,723,430
退職給付引当金	196,318	167,987
役員退職慰労引当金	110,757	97,716
その他	32,834	32,834
固定負債合計	2,783,135	3,122,968

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債合計	6,858,600	6,911,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,883,260	1,861,204
自己株式	△86,231	△45,896
株主資本合計	4,061,954	4,080,232
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△705	△116,168
繰延ヘッジ損益	△19,345	△20,326
評価・換算差額等合計	△20,051	△136,495
純資産合計	4,041,902	3,943,737
負債純資産合計	10,900,502	10,855,678

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	3,342,824	3,482,873
売上原価	1,123,592	1,270,699
売上総利益	2,219,231	2,212,174
販売費及び一般管理費	1,850,441	1,792,176
営業利益	368,789	419,997
営業外収益		
受取利息	38,621	29,902
保険解約返戻金	16,101	—
受取配当金	11,569	11,044
その他	13,802	21,804
営業外収益合計	80,094	62,750
営業外費用		
支払利息	111,290	99,071
その他	7,733	14,829
営業外費用合計	119,023	113,900
経常利益	329,860	368,847
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	143,719
特別利益合計	—	143,719
特別損失		
投資有価証券評価損	6,188	161,340
その他	10	1,169
特別損失合計	6,198	162,509
税引前四半期純利益	323,662	350,057
法人税、住民税及び事業税	125,348	161,993
法人税等調整額	30,226	64,964
法人税等合計	155,574	226,957
四半期純利益	168,088	123,099

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	1,046,358	1,040,491
売上原価	324,662	382,055
売上総利益	721,696	658,435
販売費及び一般管理費	603,828	590,137
営業利益	117,867	68,297
営業外収益		
受取利息	12,200	9,339
受取配当金	—	5,400
保険解約返戻金	6,654	—
その他	9,077	9,595
営業外収益合計	27,932	24,335
営業外費用		
支払利息	36,702	32,190
社債発行費	—	11,425
その他	1,345	975
営業外費用合計	38,047	44,591
経常利益	107,751	48,042
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	143,719
特別利益合計	—	143,719
特別損失		
投資有価証券評価損	6,188	161,340
その他	10	1,052
特別損失合計	6,198	162,392
税引前四半期純利益	101,553	29,368
法人税、住民税及び事業税	28,570	6,365
法人税等調整額	22,131	78,078
法人税等合計	50,701	84,443
四半期純利益又は四半期純損失(△)	50,852	△55,074

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	3,647,460	3,798,415
原材料又は商品の仕入れによる支出	△706,260	△755,130
人件費の支出	△899,743	△894,397
その他の営業支出	△1,160,940	△931,417
小計	880,514	1,217,469
利息及び配当金の受取額	51,183	40,719
利息の支払額	△115,306	△102,753
法人税等の支払額	△406,836	△302,914
営業活動によるキャッシュ・フロー	409,554	852,522
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△24,546	△34,487
定期預金の払戻による収入	236,000	34,000
有形固定資産の取得による支出	△32,540	△276,322
無形固定資産の取得による支出	△33,043	△2,919
貸付けによる支出	—	△50,000
貸付金の回収による収入	275,172	245,696
霊園開発協力金の支出	△149,200	△53,039
霊園開発協力金の回収	—	25,250
差入保証金の差入による支出	△30,120	△47,017
差入保証金の回収による収入	60,456	39,244
その他	△16,426	△29,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	285,750	△149,266
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	970,000	1,060,000
短期借入金の返済による支出	△1,154,040	△823,570
長期借入れによる収入	1,100,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△1,548,698	△1,717,626
社債の発行による収入	200,000	586,864
社債の償還による支出	△490,000	△73,000
自己株式の取得による支出	△29,770	△40,731
配当金の支払額	△102,795	△100,724
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,055,304	△208,788
現金及び現金同等物に係る換算差額	△286	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△360,285	494,467
現金及び現金同等物の期首残高	1,189,158	1,178,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	828,873	1,673,441

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
  
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。